

# 図書館だより

発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

## 【特集】「千葉市子ども読書活動推進計画」関連事業実施の概要

子ども読書活動推進フォーラム、児童文学講座(1面) 子ども読書まつり(2面)  
・ダンボの耳(図書館Q&A)「蔵書点検とは?」、蔵書点検による休館の予定(4面)

千葉市中央図書館  
千葉市中央区弁天3-7-7 TEL043-287-3980

みやこ図書館 (233-8333)	白旗分館 (264-8566)
花見川図書館 (250-2851)	花見川団地分館 (250-5111)
稲毛図書館 (254-1845)	西部賀分館 (254-8681)
若葉図書館 (237-9361)	あずみが丘分館 (295-0200)
緑図書館 (293-5080)	土気図書室 (294-1666)
美浜図書館 (277-3003)	打瀬分館 (272-4646)
移動図書館 (287-3983)	

## 大好評！大盛況！ 千葉市子ども読書活動推進フォーラム

平成16年12月12日、「千葉市子ども読書活動推進フォーラム」を開催しました。やや肌寒い天気でしたが、多数の市民が詰めかけ、生涯学習センターのホールには参加者の熱気が満ちていました。

### 第1部 基調講演「絵本の力」 講師 松居直氏



長年にわたり絵本と向き合ってきた松居さんならではの、豊富な話題と心に響く静かで暖かな語り口に、90分間はあっという間に過ぎてしまいました。「絵本は大人が読むもの。子どもに読んで聞かせるもの。」「子どもだけでなく、大人にも絵本を読

### 第2部 パネルディスカッション

学校図書館、出版、地域活動、児童文学、公共図書館など各分野のパネリストからの、子どもの読書を取り巻く現状や課題についての報告、客席との意見交換等を行いました。また、「大人の果たすべき役割」のほか、「なぜ読書をするのか」など根本的な事柄についても問題提起がなされました。

### 高校生の「絵本読み聞かせ実演」

1部と2部の間には、植草学園文化女子高等学校の生徒による、絵本の読み聞かせ実演や、高校生おはなし会のボランティアとして参加した体験談などの発表があり、基調講演での松居さんの言葉を裏付けるように、参加者がみんな聞き入り、絵本の良さを再確認しました。

### 「ファミリアブックタイム」事例等の展示

千葉市では、「1日10分でも20分でも家族が一緒になって読書を楽しむことを『我が家の日課』にしませんか?」と呼びかけるファミリアブックタイム運動を展開しています。今回のフォーラムにあわせ、各家庭の読書の様子を事例としてお寄せいただきその内容を掲示しました。



## 児童文学講座

## 清水真砂子氏、「アースシー」の世界を語る

今年度も児童文学講座を開催しました。講師は、昨年10月に日本翻訳文化賞を受賞した『ゲド戦記』の翻訳者、清水真砂子氏です。

1回目の10月26日は、76年の第1巻翻訳・出版以来、28年の歳月をかけて完成した作品を、一つ一つ丁寧に語っていただきました。

『ゲド戦記』は、架空の世界「アースシー」を舞台とするファンタジーです。1巻では、自分の内にある影と戦いながら大魔法使いとなるゲドの成長を、2巻では男と女の問題を、3巻では生と死の問題を描き、4巻では血の繋がらない者同士が家族を形成する話を描きました。そして5巻ではそれらをまとめ、拡散させることで締めくくっているのが著者の素晴らしいところだと話されました。

2回目の11月9日は、「子どもの本を翻訳すること」をテーマに、翻訳の難しさについてお話いただきました。翻訳する時間より、調査する時間の方が数倍かかること、文字通りに文章を変換するだけでは作者の意図は伝わらないことなどです。水面下の文章から読み取った内容を全部文章にするのではなく、必要なところのみ表に出すのだそうです。著者のル・グウィン氏が「名前」の持つ力や言葉を強く意識し、ありとあらゆるもの名付けをしていることを挙げて、そのため講師は翻訳の際、言葉の選択に熟慮されたと言われました。



『ゲド戦記』について熱く語る清水氏

「翻訳することと歌を歌うことは、どちらも原作と100%同じに再生することは出来ない点が似ている」という言葉が印象的でした。受講者からは、次のような感想が寄せられました。

- ・『ゲド戦記』を新たな視点で読み深めることができました。
- ・登場人物の言葉の使い方に変化を感ずることを知り、あらためて翻訳の難しさを感じました。
- ・言葉は生命そのものと語られる講師の生き方に感動しました。

# 中央図書館のページ

**子ども読書まつり**  
開催日 平成十六年十一月三十日(日)  
会場 生涯学習センター

**本の森オリエンテーリング**  
「絵本や物語の本の主人公あてクイズ」や、絵本の表紙のパスルの組み立てで楽しみました。中には、パスルを一人で完成させようと頑張っている人もいました。

**英語おはなし会**  
絵本「はらへこあおむし」をおさるとほづしつり」を本場の英語の響きで楽しみました。  
中・高校生は、ハリーポッターと賢者の石」の第一章の冒頭の部分を聞きました。

**紙芝居大型絵本コーナー**  
開放的なアトリウムカーデンで行いました。紙芝居は、子どもたちはもちろん大人の方も昔を懐かしむように見入っていました。

**おはなし会**  
3歳〜5歳では、絵本の読み聞かせや素話、手遊びを楽しみました。6歳以上では、日本と外国の昔話の素話に、子どもたちはお話の世界にひきこまれ一心に聞き入っていました。

**わらべうたO-I-N**  
0歳〜2歳の赤ちゃんと一緒に、親子でリズムにあわせて体を動かして楽しんだり、子守唄に聞き入ったりしていました。お父さんもお母さんも多数参加していました。

**親子の楽しさを**  
もに本の楽しさを知ってもらうために乳幼児から高校生まで、延370人が集いました。ボランティアの方とともに6つの内容で実施しました。親子連れや友だち同士の参加で、新しい本との出会いがあったことと思います。



1階展示コーナー

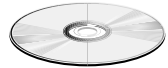


1階文庫コーナー

**利用者サービスあれこれ**  
図書館資料の配置について( )  
今回は中央図書館の1階 ポピュラー(P)部門」の資料配置についてご紹介いたします。  
この部門には、新着図書・旅行ガイド・大活字本・文庫・新聞・雑誌とA・V(視聴覚資料)コーナーがあります。

新着図書は、新刊書など図書館で新たに受け入れた図書を2〜6ヶ月間配置し、利用者の目に触れるようにしてあります。旅行ガイドは、国内・国外に分けて、比較的新しいガイドブックを配置しています。大活字本は、中高年者向けに出版された大きな活字の図書で、文学書を中心に収集しています。文庫は一般的に読まれるものを一階に、新聞は、主要紙・スポーツ紙・外国語紙の当日分と前日分を一階に配置してあります。雑誌は、外国語雑誌とファッション・料理・健康旅行誌や一般誌を、A・Vはビデオテープ・CD・カセットテープを配置しています。DVDも収集を検討しているところです。

**企画展示のご案内**  
1階展示コーナーでは2月16日まで、『食文化を考えよう』をテーマに、関連の本や資料を展示して紹介しています。  
文庫コーナー側には、『日本の郷土料理を知ろう』と題して、郷土料理を取り上げた資料を展示しました。また、2月18日からは、『春だ！動物公園に行こう！』をテーマにした展示を実施する予定です。ぜひご覧ください。





# 地区図書館 & 分館のページ

## みやこ図書館

図書館から「おじゃまします!」  
先月、29回にわたる今年度の「みやこ図書館学校訪問」が終了しました。近隣の小学校7校の1、3年生を対象に、学年別に編成したプログラムに基づき、本の読み聞かせとブックトーク(あるテーマを設定し、複数の本を関連づけながら紹介する)をクラス単位で行なう事業です。児童に本の世界の楽しさを知ってもらい、読書意欲を高めることを目的としています。今年度は延べ1000名の小学生と、本を通じて交流を図りました。また次回の訪問をより充実させるため、訪問校の先生方を招いての懇談会も予定しています。右の事業をはじめ、当館では、市民の皆さんと本を結びつけるための活動を、カウンター以外でも積極的にを行っています。



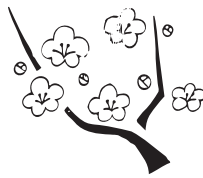
## 若葉図書館

展示コーナーに目を向けてみませんか  
当館では、市民の「身近な図書館」を目指して、図書展示するコーナーが「一般大人」、児童、郷土資料の3箇所にあります。  
所蔵している資料を中心に展示するテーマは、児童コーナーの「クリスマスス本写真参照」、一般コーナーでは、「平和コーナー」のような毎年恒例のものから、昨年は20年ぶりの新札発行をきっかけに、「紙幣の図柄になった人物に迫る」、「実りの秋国際コメ年」というような、時節の展示も行いました。また「御成街道」に関する展示など、地域性のある郷土資料コーナーでの展示も考えています。今後いろいろな展示を計画していきます。



## 花見川図書館

「花見川団地分館が4月より改築オープン」  
全面改築のため2年間、花見川第三小学校で仮開館していた花見川団地分館が、平成17年4月より、花見川中央公園の一角に広さ約八〇・七五平方メートルの新館としてオープンします。市民の皆さまの多数のご利用、ご来館をお待ちしています。  
なお改築オープンの準備のため、2月15日～3月31日の間、花見川団地分館は休館となります。  
「第10回郷土史講座を開催して」  
今回の郷土史講座は、郷土史家で、ドイツ文学の翻訳等多方面でご活躍の鈴木俊氏を迎え「さつまいもを広めた青木昆陽」をテーマに実施しました。サツマイモがいかに貴重な食物であったか、また原産地の中南米から中国・沖縄・鹿児島・江戸へとどのように広まったかの成行きが、楽しく講義され好評でした。



## 緑図書館 あすみが丘分館

あすみが丘分館は土気駅から徒歩20分、地区コミュニティの中心施設「あすみが丘プラザ」の3階にあります。ここは子どもたちに人気のスポットで、「アテネいろいろ豆知識」「秋のさんま」などの楽しい企画展示を行ったり、冬にはもみの木がお出迎えました。  
去る10月15日(金)には、土気南小学校、10月26日(火)には、あすみが丘小学校の2年生が図書館見学に訪れ、図書館についての紹介や利用方法の案内を職員から聞き、見学をしていきました。初めて図書館を訪れた児童もこれを機会に図書館を利用して頂けると幸いです。  
あすみが丘分館では、毎月第2水曜日の3時45分から「一人ではなしを聞ける3歳以上の子」を対象におはなし会を行っています。ご参加をお待ちしています。



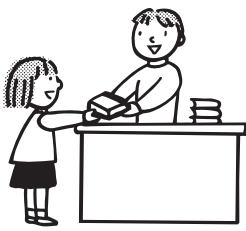
## 稲毛図書館

中学生の職場体験  
稲毛図書館は「地域に開かれた図書館」をめざし、地域との関わりを大切に考えています。小・中学校との連携も大切な仕事として取り組んでおり、その一環として区内中学校3校の職場体験学習を受け入れました。  
生徒たちは、図書館の仕事が初めてであるにもかかわらず、資料の配架や貸出、返却業務を友達同士助け合いながら一生懸命処理していました。この体験を有効に活用し、図書館の利用の仕方自身につけ、今後の学習に役立てることや、将来の自分の生き方について考える一助になることを願っています。生徒たちの感想は、  
「ふだん学校で学べない事を体験できて嬉しかった。カウンターの仕事で利用者に対する接客が難しく最初は声もでなかった、等でした。」



## 美浜図書館

図書館の体験学習について  
当館では、平成12年度から体験学習(中学生対象)を数校受け入れています。  
体験学習では、職場の体験を通して地域の多くの方々と触れ合う中で、沢山の貴重な経験や発見・感動を味わうことが出来ます。  
いろいろな体験を積むことにより、豊かな心を持った人間性あふれる大人になっただけできるよう職員一同心から念じています。  
今後、受け入れを継続していく予定です。体験学習を希望される学校は、事前の打ち合わせがありますので、年度の早い時期に申し込まれるようお願いいたします。



# レファレンス事例 ④

富士山の地形図はありませんか？

ある日、右のような問合せがありました。

「富士山の地形図」については、登山(786)、地理・紀行(291)の書棚に資料があります。

また、地図の棚には、国土地理院刊の「火山基本図富士山」があります。

富士山を調べる資料の中には、「富士山 富士山総合学術調査報告書 (富士急行19972刊)」「付録」富士山の植生(図)・気象・地質図等」なども所蔵があり、紹介しました。

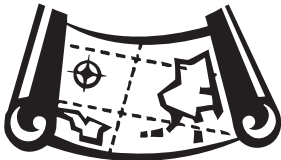
なお、地図は大別すると一般図と主題図に分かれます。

一般図の代表的資料は国土地理院作成の地形図・地勢図・地方図・日本全図などであり、市町村の管内図・分県図・社会科地図帳なども含まれます。

主題図の種類は極めて多く、国の機関などが組織的に整備した自然条件に関する地図として地質図・地形分類図・土壌図・土地条件図・火山・地震などの地図・海図・天気図・気候図・植生図などがあり、人文条件に関する地図としては行政区区域図・人口図・産業図・道路図・鉄道図ほか自然と人文との相関関係を示す土地利用図・防災地図・都市計画・地域計画などの計画図、また民間機関で作成される道路地図・観光地図なども主題図に含まれます。

中央図書館では、県内の住宅地図を始め、地形図・海図・湖沼図・土地利用図・火山基本図・空中写真・道路及び登山地図等を所蔵しています。

ぜひ一度、地図の棚もご利用ください。



# ダンボの耳 《図書館Q&A》

「蔵書点検とは？」

2月3月には、地区図書館・分館・公民館図書室で蔵書点検を実施します。(中央図書館は毎年6月に実施しています。)

今回は、約10日間の蔵書点検期間中に、図書館の中で何をしているのかをご紹介します。

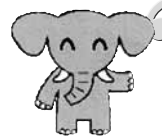
この蔵書点検の期間中に、今まで受入れた資料がきちんと書架にあるかどうかを一冊一冊すべてチェックしています。この作業を行うことで、コンピュータ上はあること(在庫)になっている資料が行方不明にならないかどうかを確認できます。

また、書架の資料の移動や修理、棚の清掃、企画展示の入れ替えなども行っています。

休憩する館の地域が重ならないように分けて実施していますが、点検中の館が所蔵している資料の取り寄せはできません。ご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



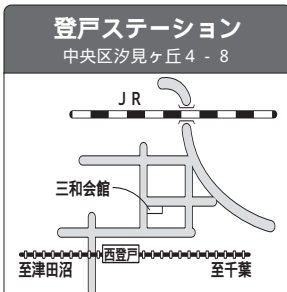
蔵書点検：資料確認中



## 移動図書館車「いずみ号」

桜木と登戸のステーションを紹介します。

桜木ステーションは、妙見宮境内で第1・3水曜日の午後2時00分から3時10分まで。登戸ステーションは、三和自治会館の敷地内で第2・4水曜日の午後2時20分から3時00分まで。どうぞご利用ください。



## おすすめの本(話題の本) 『天使の卵』 村山由佳著(集英社)

この本は著者の処女作になります。美大志望の浪人生歩太と8歳年上の精神科医・春妃の真つ直ぐな恋愛を綴った小説で、テンポのよいストーリーと繊細な心理描写で流れるように読める作品です。二人の出会い、朝の満員電車。普通ならそれだけで終わってしまいますが、思いもしない場所での再会により二人の恋は始まっていきます。読み進んでいくうち、意外な結末にとても驚かされます。そして、読み終わったあとには、心が切なさでいっぱいになります。

昨年の秋に、10年ぶりの続編となる、天使の梯子(集英社)も出版されています。

木枯らしの吹く寒い日は、暖かい部屋でじっくりと読書をされてはいかがでしょうか。



## 蔵書点検による休館の予定

平成17年2月15日(火)～2月24日(木)

みやこ図書館・稲毛図書館・若葉図書館・打瀬分館・あすみが丘分館

平成17年2月15日(火)～2月21日(月)

さつきが丘公民館図書室・検見川公民館図書室・長作公民館図書室・朝日ヶ丘公民館図書室・幕張公民館図書室・越智公民館図書室・菅田公民館図書室・磯辺公民館図書室・幸町公民館図書室・幕張西公民館図書室

平成17年3月8日(火)～3月17日(木)

花見川図書館・緑図書館・美浜図書館・西都賀分館・白旗分館・土気図書室

平成17年3月11日(金)～3月17日(木)

生浜公民館図書室・千草台公民館図書室・草野公民館図書室・山王公民館図書室・都賀公民館図書室・緑が丘公民館図書室・大宮公民館図書室・更科公民館図書室・泉園図書室・若松公民館図書室・みつわ台公民館図書室

平成17年2月15日(火)～3月31日(木)

花見川団地分館(改築オープン準備のため)